

中国 上海・北京花き市場調査報告

岐阜大学 福井 博一

(2004年1月29日~2月3日)

調査訪問箇所および意見交換者の一覧

上海市

麒麟生物農業(上海)有限公司 張志豪(総経理)
曹安路花卉市場
嵐灵花卉市場上海薇伊花芸 張琴(販売員)
精文花卉交易市場有限公司
上海種業集團本社 池堅(副総経理)
上海市花卉良種試験場 黄雪龍(常務副場長)
上海種業集團シンビジウム生産農場
上海源怡種苗有限公司 龔振徳(副総経理)
上海交大農科新橋花木有限公司 王勤剛(副総経理) 梁燕(副総経理)
上海交大農科新橋花卉市場
成美園芸(大規模園芸店)
新芸国際花卉有限公司 王興国(董事主席、中国花卉協会小売部会副会長)

北京市

中国花卉報社 楊新杭(社長) 何小唐(記者)
中国土産畜産進出口総公司 严圣徳(董事長) 李鉄男(総務)
北京石田園芸有限公司 石田正幸(総経理、(有)東海グリーン)
南陽月季基地 王波(総経理)
北京莱太花卉有限公司 蔣紅(副総経理)
北京林大林業科技股份有限公司 王四清(副総経理) 張佛(経理)
中国農業大学 趙梁軍(教授、中国花卉協会小売部会会長)
中国土産畜産進出口総公司 孟輝(総裁助理) 雷受(花卉進出口分会副理事長)
北京花郷花卉市場

上海市の花き市場

2年前の上海市の花き市場は51市場が登録されていたが、廃止したものと推定できるため実際の市場数は不明である。【麒麟生物農業有限公司 張氏】
10㎡以上の花店舗は上海市内に10,000店舗あり、市場内に7000店舗、市場外に3000店舗あると推定されている。【麒麟生物農業有限公司 張氏】
中国の花き市場は、日本のようなセリ市場ではなく、直接相対市場である。したがって、市場内には生産者、卸売、仲卸、小売店がブースを持って直接販売を行っている。一般に午前中に早い時期には小売

店を相手に販売を行い、午後からは消費者が直接購入しに市場を訪れる。【福井】

曹安路花卉市場、嵐灵花卉市場、上海精文花卉交易市場有限公司を訪問し、調査を行った。

上海は、中国最大の花卉消費市場で、2002年の切花消費量は45億本に達するといわれている。花卉の消費量は年々増加の一途をたどっており、50程度の市場があるといわれているが、精文花卉市場が最大切花市場で、2002年の切花取扱量は35億本といわれ、全体の約80%を占めているといわれている。【上海市花卉協會】

市場で流通している切花および鉢花の品目数は少なく、切花で39品目、鉢花で40品目程度と推定される。

精文花卉市場は上海市内の中心にあるため、マンション建設が予定されている。しかし、地権者とテナント者との間で交渉が難航している。【中国花卉報社】

曹安路花卉市場も同様に2年後には閉鎖される可能性がある。【中国花卉報社】

精文花卉市場および曹安路花卉市場の将来を鑑みて、2003年10月に嵐灵花卉市場が新たな市場として開場した。【福井】

【曹安路花卉市場】

上海市の東部に位置する切花と鉢物の相対市場で、昔ながらの花鳥市場の雰囲気を残す花卉市場である。

花卉を取り扱う店の数は約50店ほどで、この他には園芸資材や金魚やペットなどを販売する店も混在している。

一般的に海外からの輸入花卉については他の花卉市場に比べて高く、中国国内産の花卉については価格は安い傾向にあった。

【上海精文花卉交易市場有限公司】上海市陝西南路255號

上海市の中心部に位置する切花と鉢物の相対市場で、上海で消費される花の70～80%のシェアを占めるという巨大市場である。

1階では生花を販売し、2階では園芸雑貨を販売している。

正確には不明であるが、100店舗以上がブースを開店していると思われる。

価格は店舗によってかなり異なる。一般に、午前中が卸売を中心に、午後から一般消費者を対象とした小売が行われる。

上海種業（集団）有限公司は通常の店の4～5倍の面積でテナントを開いていた。

【嵐灵花卉市場】上海市普陀区靈石路1539号

上海市北部に位置する切花と鉢花の相対市場で、精文花卉市場および曹安路花卉市場が将来廃止になることを勘案して、2003年10月に新たな市場として開場した。出店ブース数は234ブースで、現在1/2程度が開店していた。

ブース借用料は、5万元/40㎡/年（1階店舗+2階倉庫、事務所）である。

日本のバラ生産システム販売会社の太洋興業が販売ブースを持って試験的に販売・市場調査を行っていた。市場正面の最も有利な場所にブースを設けており、「上海薇伊花芸」の大きな看板があり、まだ中国では一般的になっていないスプレーバラ（多頭玫瑰）を試験販売していた。

スプレーバラ 10元/本、ギフト市場をターゲットとして展開中である。

【新橋花卉市場】

上海交大が経営する鉢物市場で、17300 m² (260 畝) の面積に 100 店舗が出店している。

【成美園芸】

台湾資本の企業が経営する大規模鉢花販売店

北京の花卉市場

【北京萊太花卉有限公司】

1998 年 4 月に開場した。時計ゼリのオークションと直接相対の 2 通りの取引を行っている。相対市場の開場時間は午前 4:00 ~ 午前 8:30 で、オークションは午後 4:00 から開始される。

直接相対市場は 2 ゾーンに分かれており、A ゾーンでは、バラ、ユリを中心として取引が行われ、テナント数は 90 軒。B ゾーンでは、カーネーション、キク、バラ、葉物などを中心に取引が行われ、110 軒程度が出店している。

出店者および購入者は会員制度をとっており、取引が成立した品目、数量、金額を萊太花卉有限公司に報告することになっている。

現在の買参人登録者は 2000 ~ 3000 人 (生花教室やスーパーなども含む)

萊太花卉市場の 1 日の取扱金額は 20 ~ 30 万元で、1 日の取扱本数は 25 万 ~ 37.5 万本と推定される。しかし、正確な数量は市場自体も把握できていない。

全ての切花を平均すると、販売金額は平均 0.8 元 / 本である。

毎年取扱本数は 10% ずつ増加している。

荷受けは午後 4:00 に始め、市場に搬入された切花は倉庫で貯蔵後、午前 4:00 から直接相対方式で販売開始。

売り上げの 70 ~ 80% が上位 10 品目で占められている。上位 10 品目は、キク、カーネーション、バラ、グラジオラス、ユリ、チューリップ、ガーベラ、ラン、デンファレ、スターチス

今後増加すると推定される品目は、トルコキキョウ、バラ (黄色、サーモンピンク) で、カーネーションは減少すると予想している。

日本の切り花は、価格が高いため輸入は難しい。

産地としては、昆明が切花産地として今後成長すると予想している。ユリについては遼寧省が成長する。チューリップの国内産地は遼寧省で、6 年前は品質が良かったが、年と共に品質が低下している。

キクは年末までは山東省、遼寧省産のものが多かったが、年が明けてからは広州産が主力となっている。(産地のリレー化)

2004 年 9 月に東郊花卉市場と彩雲之花卉市場が開場し、現在、北京の切花卸売市場は萊太花卉を含めて 3 社となった。大規模小売店は 20 社ある。

【北京花郷花卉市場】

北京市南西部に位置する鉢物を中心とする相対花卉市場で、切花も一部販売している。

花郷花卉市場が位置する北京市豊台区は、清朝の時代から宮廷で飾る花の生産を行ってきた花卉生産地で、地域全体の地名として「花郷」と呼ばれている。

北京花郷花卉市場は産地市場として発展してきた。

【北京地区主要花卉市場】

菜太花卉市場（14400 m²）、東郊花卉市場、彩雲之花卉市場、大自然市場（10000 m²、4100 m²）、西連航天橋花卉市場（10000 m²、3500 m²）、玉泉堂花鄉花卉市場（10000 m²、7000 m²）、万園春花市場（9000 m²）、北京花卉交易市場（2600 m²）、京都惠新市場（2500 m²）、元都花卉市場（2100 m²）、垂運村花卉市場（600 m²）、望京花卉市場、天壇花卉市場、陶然亭花卉市場、玉花園花卉市場、玉泉堂花卉展销庁、東方美都花卉市場

輸送方法および経費

昆明から上海までの航空運賃 2.4 元 / kg

上海 日本の船便リーファーコンテナの輸送経費は 14 ~ 18 元 / kg【上海種業集団】

昆明 上海の航空便による輸送価格 2.4 元 / kg（補助がある場合）、4 元 / kg（補助がない場合）【上海種業集団】

航空便の運賃は 2.5 ~ 3 元 / kg、列車の運賃は 1 元 / kg。【北京菜太花卉】

リーファーコンテナでの輸送経費は 1200 \$（20000 香港 \$）、航空便の場合の輸送経費は約 12000 \$。植物検疫費用は 0.02 元 / 本。【上海種業集団】

日本への輸出方法として、量が少ない場合には航空便を利用し、量が多い場合には船コンテナを使用する。国内流通はトラックを使用し、段ボール梱包で行う。【上海花卉良種試】

成都 北京までのトラック便は 4 日間【上海花卉良種試】

昆明からの輸送手段は飛行機、もしくは列車。【北京菜太花卉】

輸入関税は 13%。特別増値税 8%。国内生産振興のための種苗輸入の場合には特別増値税が免除される。【上海種業集団】

シンビジウムの輸入の現状調査

【輸入量について】

2001 年は韓国から 40 フィートコンテナで 300 本が輸出されている。【中国花卉報社】

韓国から輸出されるシンビジウムは 80%が上海に直接輸入される。【上海種業集団】

2004 年春節に向けての日本からの輸入量は、3 万鉢程度ではないか？【麒麟生物農業有限公司 張氏】

日本からの輸入量は 40 フィートコンテナで 30 本程度と推定している。【垂細亜園芸事業 鄭氏】

2004 年春節の上海でのコチヨウラン販売量は 700 万鉢、シンビジウム 70 万鉢と推定される。【上海交大】

日本からの輸入シンビジウムは 70%が広州を経由する。【上海種業集団】

上海は気温が低いいため、通関手続きで品質が低下する可能性があることに加えて、香港を経由すると関税が免除されるため、香港を経由して広州に輸入し、その後列車で上海に輸送する。【上海種業集団】

上海種業（集団）有限公司では、福岡より輸入し、広州を経由している。

北京へのシンビジウム輸出経路。FAJ 岐阜種苗 北京林大林业科技股份有限公司 北京石田園芸有限公司 仲卸（あるいは小売店） 小売店。【北京懇談会】

【日本産シンビジウムの評価】

日本産のシンビジウムは品種が新しいのに加えて、葉がきれいである。【上海種業集団】

コチョウランとシンビジウムについて、日本から新しい品種を導入したい。【上海交大】
上海種業集団で生産している品種は6品種で、台湾と韓国から品種を導入している。

【中国国内生産】

上海種業集団ではシンビジウムの生産をすでに開始しており、浙江省の800～1200mの山地での山
上げ栽培も行っている。生産量は2003年で11000鉢を生産。

シンビジウムは、海南島の産地の農場とリレー栽培を行い、大苗を開花まで栽培を行い出荷。【北京
林大】

シンビジウムは直販でも販売している。【上海種業集団】

【消費の方法と嗜好】

シンビジウムの購入目的は、個人消費ではなく贈答品としても需要が高い。贈答相手は仕事上の取
引会社の役職者や会社の上司など。

花色は赤色とピンクが多く、緑花などの特殊な品種は価格が高い。【上海種業集団】

需要の多い花色は、明るい赤色、黄色である。【北京懇談会】

明るい花色が好まれる。【北京懇談会】

大株が好まれる。【北京懇談会】

葉が立って綺麗であることは必須条件。【北京懇談会】

春節の需要はギフト需要が主体で、コチョウランがその主力となっているが、その理由は流通量が
コチョウラン主体であるため、将来シンビジウムが増加すれば変化が見られると推定される。【上
海交大】

コチョウランは、2003年まで春節のトップ商品であったが、2004年からその座をシンビジウムに
明け渡した。【北京林大】

日本からのシンビジウムはこの2年間で輸入量が増加しており、販売価格も中国産に比べて高い。
例えば、国産シンビジウムの卸売価格は80～100元であるが、日本産は250元以上で販売されてい
る。【中国花卉報社】

2004年のシンビジウム価格は2003年より低下し、かつ希望の花色や品質のものが入荷できなかつ
た。【北京懇談会】

【問題点と今後の課題】

今年の問題点として、11月に広州で開催された「シンビジウム見本市」に展示されたものと、実際に
到着したものが花色やボリューム、品質などで異なった。これを解決する方法として、「11月に開花株
を出荷できる産地と1月に開花株を出荷できる産地が異なる。したがって、11月の見本市で品種を指定
した場合に、1月に輸出されてくる鉢の出荷産地が異なるため、品質に問題がでる場合が生ずる。これ
に対応する方法として、1月輸入したのを見て、産地と、出来れば生産者を指定して輸入することが
望ましい。また、生産地には売れない理由や売りたいものの情報をフィードバックする体制が重要であ
る。園芸産品は生物であるので、的確な情報伝達が重要である。」

2004年の販売状況としては、中国産はまだ出荷できない状況で、韓国産の入荷量が少なく、日本から
の輸出シンビジウムにとっては好条件が重なった。来年は中国国内産が大量に出荷されてくる可能性が
あり、韓国産についても今年のようなことがなければ、来年(2005年)は価格が低落する可能性がある。

生産方法および生産施設・設備の価格

輸入ガラスハウスの建設コストは1000/m²、国産は800元/m²、PC温室は400元/m²、ビニル温

室は 70～80 元 / m²。【上海種業集団】

温室建設および内部施設(暖房、灌水防除、ベンチなど含む): オランダ製 1200 元 / m²、中国製 400 元 / m²。【上海種業集団】

ビニル温室建設費: 70 元 / m²。【上海市花卉良種】

国産自動制御式ガラス温室(内部施設を含む): 600 元 / m²。【上海交大】

国産 PC 自動制御温室: 450～600 元 / m²、ラン用ビニル温室: 300 元 / m²。【上海交大】

培土ミキサー + ポットフィルター: 80 万元。【上海種業集団】

カーネーションの暖房コストは高く、12～2月の暖房費は 46 万元である。【上海市花卉良種】

アンズリウム生産における暖房費: 10000 元 / 日。【上海種業集団】

石炭で暖房を行っている。【北京林大】

石炭価格 200 元 / t。【上海市花卉良種】

パート労働者の人件費: 17～18 元 / 日(上海市の平均は 20 元 / 日) 【上海市花卉良種】

花卉の需要の多い物日と消費の季節変動

【物日について】

物日(節日)では個人消費量が著しく高まり、生産量も高くなる。【中国花卉報社】

春節(旧正月) バレンタインデー(情人節)(2/14) 清明節(4/5) メーデー(5/1) 母の日(5月第3日曜) 父の日(6月第2日曜) 師範節(9/10) 国慶節(10/1) クリスマス(12/24) などが現在の主な物日である。【中国花卉報社】

一般に、6～8月の消費量は少なく、9月以降に消費量が増加する傾向にある。【上海種業集団】

【物日での消費】

個人消費金額は通常は 100 元以内。春節のシンビジウムは平均 200 元。フラワーアレンジの場合には 200～300 元程度のものが良く売れる。【中国花卉報社】

春節は鉢物の販売量が著しく高まる。【中国花卉報社】

師範節や母の日は普段の 10 倍の消費量がある。【中国花卉報社】

師範節は 2002 年以前まではほとんど花の消費イベント日ではなかった。しかし、2003 年に急に先生に花を贈る習慣が起きた。原因は不明とのこと。【中国花卉報社】

【冠婚葬祭での花の消費】

結婚式での花の使用頻度は意外と低い。結婚式関係では、車を花で飾ったり、新居の部屋を飾ったりすることはあるが、式場を多数の花で飾ることは少ない。【中国花卉報社】

ホテル結婚式も次第に増加し始めており、結婚業者が予算に従って結婚式場のレイアウトを決める。

【中国花卉報社】

結婚式は偶数日が多い。【中国花卉報社】

葬儀では造花を使用する習慣はあるが、高所得層になるに従って生花を使用する頻度が高くなる。

【中国花卉報社】

日本での消費の大きな割合を占める「仏花」の習慣はなく、先祖には果物を祭る習慣がある。しかし、経済成長と共に「ダンゴより花」の指向が高まると考えられる。【中国花卉報社】

冠婚葬祭での花の利用は「まだこれから」といった状況である。【中国花卉報社】

【高級な花を消費する人々】

7割が富裕層の固定客。普通の花店より3割高い。【上海新芸花行】
富裕層といわれる人々の人口は2%程度と推定される。【上海種業集団】
人口の2%が高所得層。【中国花卉報社】
富裕層の人々に対しては、良品・珍品が良く売れる傾向にある。【上海種業集団】
自分で花を買って、自分で飾る人は1%程度ではないか。ほとんどはアレンジされた盛花を購入し、ギフトとして使用する。【上海新芸花行】
包装資材は日本から輸入している。【上海新芸花行】
日本企業からも注文を受けている。【上海新芸花行】
テレビ放映やイベント協賛によって消費者の花き消費の方向が大きく変化する時代になった。【上海新芸花行】
アレンジは花店が行う。アレンジ技術はアメリカや台湾から導入している。【中国花卉報社】
中国の切り花アレンジ技術が低く、将来の花き産業の発展のためにはアレンジ技術の向上が不可欠であるとの考え方から、フラワーアレンジ学校を設立。【上海新芸花行】
中国花卉報社が年間7~8回のフラワーアレンジメント教室を開催したり、インターネットやCDで技術普及に努めている。【中国花卉報社】
北京の高級マンション価格は平均200万元で、面積あたりの金額では、5000元/m²。【北京地産畜産進出口公司】
借家(アパート)の家賃は、中心地(三環路)で40元/m²/月程度。【北京地産畜産進出口公司】

【その他】

花キューピッドのシステムを導入しており、JFTD中国本部である。【上海新芸花行】
JFTDも近い将来発展すると考えられており、既に数十社が加盟している。【北京地産畜産進出口公司】
春節の時期は寒いため、バラやコショウランは使用したくない。ユリやチューリップが好ましいと考える。(客本意の考え方)【上海新芸花行】
上海は花き情報発信地である【上海新芸花行】
これからの中国の花き流通を動かすのは、市場ではなく「大花店(大規模花卉販売店:卸に近い形態と推定される)」と予想される。【北京地産畜産進出口公司】

花卉の育種の方向

【品種の動向】

カーネーション、ユリ、ガーベラ、バラが切り花のトップ。
切花の主要品目は「四大金剛」といわれ、キク、カーネーション、バラ、グラジオラスで、ユリ、チューリップ、アンズリウム、ラン類などがそれに続くといわれている。【福井】
売り上げの70~80%が上位10品目で占められている。上位10品目は、キク、カーネーション、バラ、グラジオラス、ユリ、チューリップ、ガーベラ、ラン、デンファレ、スターチスである。【北京菜太花卉】
切花流通の上位5品目は、バラ、ユリ、カーネーション、キク、ガーベラで、価格は夏に安く、冬に高くなる傾向にある。【中国花卉報社】
鉢花流通の上位6品目は、コショウラン、シクラメン、アザレア、プロメリア、アンズリウム、ポインセチアである。【中国花卉報社】
今後増加すると推定される品目は、トルコキキョウ、バラ(黄色、サーモンピンク)【北京菜太花卉】

減少すると推定される品目は、カーネーション【北京菜太花卉】

ユリについては、中国自生の原種を導入して新たな品種開発する必要がある。育種に当たっては中国市場向けの品種の開発が重要。ユリは白、ピンクが好まれる。香りが強すぎるものは好まれない。花粉レス。【上海種業集団】

バラの育種はガーデンローズや趣味のバラが主力で、切り花の育種はほとんどない。バラは赤色が好まれる傾向にある。【上海種業集団】

カーネーションは赤色のスタンダードが主力であるが、価格が高いのは赤色のスプレー品種である。【上海市花卉良種】

現在栽培している品種は、赤色 45%、黄色 15%、ピンク・混色系統が 40%を占める。【上海市花卉良種】

中国での色の好みとしては、赤色が主力で、次いで黄色となり、濃い色を好む傾向がある。【上海市花卉良種】

キクの品種は、白色は神馬、黄色は中国品種を栽培している。【北京地産畜産進出口公司】

【種苗法と特許】

上海種業良種試験場では、20 年前よりカーネーションの育種に取り組み、最近、赤色と紫色のカーネーション 2 品種を登録した。【上海種業集団】

上海種業で生産されている切り花カーネーションのうち、特許が掛かっている品種は 20%程度である。【上海種業集団】

上海種業では、海外の育種会社に対して、生産している切り花親株および増殖した苗について正規のロイヤリティーを支払っている。しかし、苗を販売した国内の農家に対してはロイヤリティーを請求していない。中国国内の農家は、購入した苗を栽培し、その過程で発生する腋芽（芽掻き芽）を使って増殖している。中国種子法では農家の自家増殖を認めているため、農家の増殖は無断増殖とはいえない。問題は、アングラ苗生産会社が大量に無断増殖を行い、農家に販売していることである。この結果、苗の価格が暴落しており、上海種業としても農家に特許代を請求できない状況に追い込まれている。特許代を付加した場合には価格競争に勝てない。【上海種業集団】

特許料を上乗せした場合のキクの挿し穂の価格は 0.1 ~ 0.2 元となるのに対して、ピンチした穂木を用いて無断増殖を行っているキクの穂木の価格は 0.01 元 / 本で販売されている。農家への販売価格に特許料を課すことが出来ないため、やむを得ず 0.03 元 / 本で販売している。【上海市花卉良種】

良い商品が必ず高いということはなく、産地によって価格が左右される。また新品種が高いというわけでもないため、育種に対する意欲や生産技術の向上に対する意欲が低下している。【上海種業集団】

国内販売では、品質が高いものと低いものとの価格差が小さく、収量が優先される。【上海市花卉良種】

上海におけるカーネーションの品種寿命は 2 年と短い。【上海種業集団】

プロメリアとアンズリウムについては、苗をオランダから輸入して生産している（特許料込みで購入）。【上海種業集団】

カラコエとベゴニアはデンマークより挿し穂を輸入している（特許料込みで購入）。【北京林大】

花壇苗のプラグ生産に用いる種子は日本から輸入した種子を用いている。【上海種業集団】

ロイヤリティーの管理方法として、生産地を指定し、生産量（輸出量）を育種会社に報告し、日本の輸入会社が 2 円 / 本をロイヤリティーとして育種会社に支払う。【北京地産畜産進出口公司】

しかし、新品種の導入が重要課題。【北京地産畜産進出口公司】

種苗法が今後大きな問題となる。【北京地産畜産進出口公司】

種子法の改正。しかし、法律改正ではなく、法律をいかに守らせるかが問題。

日中協力関係を強化する必要がある。

花卉輸出協会を設立し、協会加盟生産会社は国際種苗法を守る。税関と協力し、違法行為に対してペナルティーを課す。技術、生産品を含めて協会が責任を持って管理する。

中国の花き生産の問題点

【産地問題】

昆明は輸送問題の解決が重要課題で、このような課題を解決するために、生産基地を昆明から青島に移動させている。【北京地産畜産進出口公司】

現在中国で流通している切り花品質は低く、その原因となっているのが昆明である。昆明は生産量が大きいため、市場で一定の評価をせざるを得ない状況であるが、品質は極めて悪い。昆明の生産技術の向上が今後の中国の大きな課題といえる。【上海種業集団】

昆明は切花産地として今後成長する。【北京菜太花卉】

キクは12月以降3月までは広東省で生産されたものを輸送して販売している。露地栽培であるため害虫が発生していることが問題である。山東省および遼寧省で生産されるキクについてはこのような問題はない。【上海種業集団】

上海は中国の切り花生産発祥の地であり、生産技術は高いものの、冬の低温・低日射、夏の高温など必ずしも生産環境に恵まれているとはいえない。【上海種業集団】

コチョウランの今後の生産地域は、山東省と遼寧省に移行すると推定される。【上海交大】

コチョウランの中国国内の状況としては、需要と供給が均衡し、飽和状態に達していると推定される。今後は価格競争に移行すると推定される。ただし、品質に大きな問題があり、高品質な商品の流通量が著しく少ない。【北京林大】

「年消花」：夏半年で生産を行い、冬の半年で販売を行うの意味。【中国花卉報社】

これからの中国の花き生産形態として、経営体は企業が主体となり、その周辺の生産農家が共同企業体の一員として参画し、企業名をブランド名として使用して生産・販売することになる（企業＋農家）。【上海種業集団】

商品の品質評価基準がなく、市場での品質評価がまちまちであるため、価格が不安定である。品質規格作りが今後の大きな課題である。【上海交大】

中国からの花きの輸出

【カーネーション切花】

日本への輸出は2002年春から開始し、母の日を中心として昨年は100万本を輸出した。2004年は250万本を輸出予定で、3月から5月が出荷のピークをむかえるように生産調整を行っている。【上海市花卉良種試】

上海種業の日本へのカーネーション輸出量は、2001年：300万本 2002年：3100万本 2003年：7700万本となっている。日本の輸入会社は東亜通商で、輸出切り花の品質検定は東亜通商が実施している。【上海種業集団】

輸出価格は年間契約で決定しており、FOB価格でスタンダード70cm(L)10円/本、スプレー65cm(L)13円/本、55cm(S)11円/本である。日本に輸出できないものを上海市場で販売している。日本に輸出していることが高く評価され、昆明産の平均価格が0.1元/本であるのに対して、昨年の平均価格は0.25元/本で、今年の春節では0.5元/本で販売できた。【上海種業集団】

中国国内販売では切り前が固いため、輸出用は切り前を調整する必要がある。【上海種業集団】
日本の到着港は神戸港がほとんどで、一部横浜港がある。【上海種業集団】

【キク切花】

キクの日本への輸出に当たって、2 日前に植物検疫を受ける。輸出用の箱は日本専用の箱を用い、スプレーでは100本、輪キクでは120本を梱包している。【上海種業集団】

中国土産畜産進出口総公司では、2000年より山東省で挿し苗を生産し、東亜通商を經由して日本(愛知)に輸出している。切花も日本へ輸出しており、2003年に山東省青島から1000万本、遼寧省大連から300万本が輸出されている。【北京地産畜産進出口公司】

用大園芸有限公司が青島で1996年からキクの生産を開始し、日本市場向けに輸出を開始している。輸送方法は船便で、周年出荷を目標にしている。輸出実績は、1999年：20万本 2000年：50万本 2001年：100万本 2002年：200万本 2003年：400万本 2004年：800万本(予定)である。【北京地産畜産進出口公司】

中12月から8月にかけては、厦門(アモイ)で20万本、河北省保定市で200万本のキクを生産し、天津港に集荷し、日本へ輸出している。【北京地産畜産進出口公司】

国内のキクの消費は少なく、80%を日本に輸出し、輸出できない低品質の切り花を国内消費に向けて販売している。【北京地産畜産進出口公司】

【輸出全般】

リーファーコンテナでの輸送経費は1200\$ (20000香港\$)。航空便の場合の輸送経費は約12000\$。【上海種業集団】

植物検疫費用は0.02元/本【上海種業集団】

昆明のバラ生産は上位15社で総生産量の20%、輸出量の70%を占有している。【北京地産畜産進出口公司】

年間100~150万本のコチョウラン小苗を生産し、中国・日本に出荷している。【上海交大】

コチョウランの切り花生産と日本への輸出に興味を持っている。【上海交大】

この他、切り葉(シキミ、サカキ、ウラジロなど)やラッキーバンブーを輸出している。【北京地産畜産進出口公司】

中国花卉報社からの聞き取り調査

1. 中国の花き流通は、切花、鉢花のいずれにおいても、花卉市場、花店、スーパーなどが主要経路となっている。
2. 北京の花卉市場は現在約20社あり、14社は環状3号線付近に集中しており、切花、鉢花を取り扱い、卸売、小売りを行っている。それ以外は南環状4号線に集中し、主に鉢花の卸売を行っている。現在、切花を卸売りする市場として菜太、彩雲之南、東郊の3市場があり、彩雲之南、東郊の2市場は切花だけを卸売りしている市場である。
3. 北京の花店は300軒以上ある。
4. 2003年の北京の切花流通量は、90億本以上で、2001年は37億本であった。
5. 切花流通の上位5品目は、バラ、ユリ、カーネーション、キク、ガーベラで、価格は夏に安く、冬に高くなる傾向にある。中国花卉協会としては切花の選花基準はあるものの、市場段階には普及していない。菜太花卉市場は切花のセリ売り朝市での相対を行っているが、菜太花卉市場としての独自の出荷基準を持っている。
6. 鉢花流通の上位6品目は、コチョウラン、シクラメン、アザレア、プロメリア、アンスリウム、ポインセチアである。物日の流通量は大きく、特に国慶節と春節は流通量が大きく、集中している。鉢花の出荷基準は生産会社が独自に基準を定めており、共通した基準はない。
7. 輸入手数料として、輸入代理会社が価格の4~5%を徴収している。
8. 中国検疫について。中国国内に輸出する場合には、まず使用している用土を送り、検疫許可を受けた

後に手続きが始まります。北京に到着後は、指定された場所で植物検疫を受けることができます。

9. 現在、中国の切花輸入量は極めて少なく、特定の種類、例えばオーストラリアのプロテアなどが輸入されているに過ぎない。鉢花の輸入量も毎年減少している。輸入品の価格と国産品の価格差も小さくなっている。例えば品質の高い中国産のアザレアの卸売価格は40～50円で、輸入のアザレアの価格は50～60円です。日本からのシンビジウムはこの2年間で輸入量が増加しており、販売価格も中国産に比べて高い。例えば、国産シンビジウムの卸売価格は80～100円ですが、日本産は250円以上で販売されている。

花卉の価格

シンビジウム

韓国産

180元/株(小売価格)

【北京輸入業者懇談会】

220元/鉢(小売価格3F)

【上海 曹安路花卉市場】

日本産

300元/鉢(仕入れ価格3F)

【北京輸入業者懇談会】

330～350元/鉢(仲卸販売価格)

【北京輸入業者懇談会】

980元/鉢(河野メリクロン直輸入4F)

【上海 精文花卉市場】

1000元/鉢 (春節前平均価格)

【上海種業】

1200元/鉢(河野メリクロン直輸入4F)

春節直前【上海 精文花卉市場】

中国産

80～100元/鉢(小売価格2～4F)

【上海種業】

小売価格

380～400元/鉢(日本産)

【北京輸入業者懇談会】

380元/鉢(韓国産)

【上海 成美園芸】

248元/鉢(韓国産)

【上海 成美園芸】

バラ

外国産

35元/本(オランダ産 青色に着色)

【上海 曹安路花卉市場】

10元/本(日本産 スプレーバラ)

【上海 嵐灵花卉市場】

4元/本(台湾産)

【上海 曹安路花卉市場】

中国産

1.0元/本(中国産 昆明)

【上海 曹安路花卉市場】

1.0元/本(中国産)

【上海 精文花卉市場】

1.2元/本(中国産)

【上海 精文花卉市場】

1.5元/本(中国産)

【上海 精文花卉市場】

1.8元/本(中国産)

【上海 精文花卉市場】

3.0元/本(中国産)

【上海 精文花卉市場】

4.5元/本(中国産:日本輸出品)

【上海 精文花卉市場】

2.9元/本(中国産 昆明)

【北京 莱太花卉市場】

3.2元/本(中国産 赤)

【北京 莱太花卉市場】

1.7元/本(中国産 黄)

【北京 莱太花卉市場】

2.1元/本(中国産 ピンク)

【北京 莱太花卉市場】

2.8元/本(中国産 黒)

【北京 莱太花卉市場】

小売価格

6元/本(中国産 上海 赤)

【上海 友誼商城】

チューリップ

5元/本(オランダ産)	【上海 曹安路花卉市場】
4元/本(オランダ産)	【上海 精文花卉市場】
2元/本(オランダ産)	【上海 精文花卉市場】
2元/本(中国産)	【上海 精文花卉市場】
2.5元/本(中国産)	【上海 精文花卉市場】
2.6元/本(中国産:輸出品)	【上海 精文花卉市場】
3元/本(中国産)	【上海 精文花卉市場】
3.5元/本(中国産)	【上海 精文花卉市場】

カーネーション

0.25元/本	【上海 曹安路花卉市場】
9元/束(12本)	【北京 莱太花卉市場】

シクラメン

8元/鉢	【上海 成美園芸】
15元/鉢	【北京 花郷花卉市場】
18元/鉢(中国産)	【上海 曹安路花卉市場】
35元/鉢(中国産)	【上海 曹安路花卉市場】
70元/鉢(大鉢寄せ植え)	【上海 成美園芸】

カランコエ

2.5元/鉢(3号)	【北京 花郷花卉市場】
3.3元/鉢(3.5号)	【北京 花郷花卉市場】
5元/鉢(3.5号)	【北京 花郷花卉市場】
10元/鉢(4号)	【上海 成美園芸】
10元/鉢	【上海 曹安路花卉市場】
15元/鉢(5号)	【上海 成美園芸】

ユリ

8~10元/本(生産者価格:4F)	【上海 上海種業】
3.5元/本(市場価格)	【上海 精文花卉市場】
30元/本(小売価格:上海産)	【上海 上海友誼商城】

コチヨウラン寄せ植え

45元/鉢(1F赤)	【上海 成美園芸】
200元/鉢(大3)	【上海 成美園芸】
268元/鉢(大2小3)	【上海 成美園芸】
310元/鉢(小5)	【上海 成美園芸】
320元/鉢(大5)	【上海 成美園芸】

ブロメリア寄せ植え

15元/鉢(小鉢)	【上海 精文花卉市場】
38~40元/鉢(小鉢)	【上海 成美園芸】
225元/鉢(3株)	【上海 成美園芸】
240元/鉢(4株)	【上海 成美園芸】
266元/鉢(3株)	【上海 成美園芸】

300 元 / 鉢 (3 株)
320 元 / 鉢 (3+)

【上海 成美園芸】
【上海 成美園芸】

アザレア 10元/鉢	【北京 花郷花卉市場】
アザレア(小鉢) 5元/鉢	【北京 花郷花卉市場】
アザレア(大鉢) 65元/鉢	【上海 成美園芸】
アンズリウム 35元/鉢	【上海 成美園芸】
エピデンドラム 135元/鉢	【上海 成美園芸】
オンシジウム寄せ植え(10号) 2888元/鉢	【上海 成美園芸】
カトリア寄せ植え(5株) 500元/鉢	【北京 花郷花卉市場】
キンカン(大鉢) 165元/鉢	【上海 成美園芸】
クチナシ 180元/鉢	【北京 花郷花卉市場】
君子蘭 38~6800元/鉢	【上海 曹安路花卉市場】
サザンカ 15元/鉢	【上海 嵐灵花卉市場】
シキミ(大鉢) 140元/鉢	【北京 花郷花卉市場】
シャクナゲ 320元/鉢	【上海 成美園芸】
シャコバサボテン 12元/鉢	【上海 精文花卉市場】
ニューギニアインパチェンス 5元/鉢	【北京 花郷花卉市場】
ヒマワリ 5元/本	【上海 精文花卉市場】
ポインセチア(4号) 15元/鉢	【上海 成美園芸】
ボタン 85元/鉢	【上海 精文花卉市場】
リーガースベゴニア(4号) 15元/鉢	【北京 花郷花卉市場】

アレカヤシ 6元/束(12本)	【北京 菜太花卉市場】
オンシジウム 広州産 45元/束(10本)	【北京 菜太花卉市場】
ガーベラ 5元・束(10本)	【北京 菜太花卉市場】
スターチス 15元/束(5本)	【北京 菜太花卉市場】
ストック 1.5元/本	【上海 精文花卉市場】
スプレーマム 15元/束(中国産)	【上海 曹安路花卉市場】
ソリダスター 15~18元/束(24本)	【北京 菜太花卉市場】
フリージア 1元/本	【上海 精文花卉市場】
プロテア 南アフリカ産 40~50元/本	【北京 菜太花卉市場】
モンステラ 8元/束(5本)	【北京 菜太花卉市場】
輪キク(白) 1元/本	【上海 曹安路花卉市場】
輪キク(黄) 1元/本	【上海 曹安路花卉市場】
キク 8元/束(20本)	【北京 菜太花卉市場】

バラ花輪 85元	【上海 曹安路花卉市場】
通常の花輪は40~50元	【曹安路花卉市場】
花束 180~200元	【上海友誼商城】